

高校生が医学実習体験

徳島大医学部は、高校生に医学研究実習を体験してもらい「Jr. student Lab(ジュニア・スチューデント・ラボ)」を開設した。研究者の発掘や育成につなげるのが狙いで、4月から徳島市立高の2、3年生9人が細胞生物学や疾患病理学などを学んでいる。生徒から好評なため、来年度は参加校を増やす。

徳大医学部受け入れ

ラボに参加している生ゴカイの細胞について徒は、医学部の公開講座 調査した3年の山根綾華受講生として週1、2さん(18)は「大学での活回、放課後に研究室を訪 動は刺激的で、研究の奥れている。医学部教員や 深さを学んだ」と語っ 学生の指導を受けながた。ら、文献調査のほか、頭 ラボの開設は、医学部 顕微鏡を使った細胞の観 と同校の高大連携事業の 察、動物実験、報告書の 一環。大学の高度な研究 作成など実践的な研究を 環境に触れたい高校側 と、進学希望者を確保し 11月まで続ける。

研究者の発掘・育成狙う



顕微鏡を使って研究に取り組む高校生と指導教員
—徳島大医学部

て研究者の育成につなげたい大学側の思いが一致している」と話した。(平田潤)

高校・大学の調整役を務めた勢井宏義教授(統合生理学)は「高校生を引き受けることで、医学部の教育研究活動の活性化につながると期待して